

## 償却資産申告書・償却資産異動連絡表の書き方

### 『償却資産申告書』（第26号様式）

令和6年度以前に申告された方（異動がない方含む）、資産を取得して今回初めて申告される方ともに、必ず提出してください。

（申告書様式中1～18の項目について）

- 1 「所有者住所」には、住所のほか電話番号も記入してください。
- 2 「所有者氏名」（法人にあっては代表者氏名）を記入してください。※押印不要
- 3 個人の方は12桁の個人番号を、法人にあっては13桁の法人番号を右詰めで記入してください。償却資産を共有されている方は、記入不要です。
- 4～17においては必要事項を記入してください。
- 18 前年度と変更がない場合には、**異動なし**の記入をお願いいたします。

### 『償却資産異動連絡表』

令和6年度以前に申告された方は、異動があった場合のみ提出してください。

資産を取得して今回初めて申告される方は、令和7年1月1日現在の全資産を記入し提出してください。

○「氏名コード」…記入の必要はありません。

○「異動区分」…次の数字で記入してください。

削除 = 1 所有資産が令和6年1月2日から令和7年1月1日までに減少した場合。

新規 = 2 令和6年1月2日から令和7年1月1日までに取得した資産がある場合。

訂正 = 3 所有資産に変更及び錯誤があった場合。

○「異動区分」を次のようにした場合

1（削除した場合）

「資産の種類」・「資産コード」のみ記入。

2（新規とした場合）

「資産コード」は記入の必要はありません。「資産の種類」を記入。

「資産の名称等」・「数量」・「取得年月」・「取得価額」・「耐用年数」のすべて記入。

3（訂正とした場合）

「資産の種類」・「資産コード」を記入し、訂正された箇所のみ記入。

○「取得年月」…1月1日に取得した場合は、その前年の12月を取得年月としてください。

○課税標準の特例が適用される資産については、「課税標準の特例」欄に特例の旨を記入してください。

#### （記入例）

#### 償 却 資 産 異 動 連 絡 表

|           |  |  |  |  |  |  |
|-----------|--|--|--|--|--|--|
| 氏名コード(7桁) |  |  |  |  |  |  |
|           |  |  |  |  |  |  |

|       |  |
|-------|--|
| 所有者住所 |  |
| 所有者氏名 |  |

異動区分

1. 削除
2. 新規
3. 訂正

| 資産種類 | 資産コード | 異動区分 | 資産の名称等    | 数量 | 取得年月 | 取得価額      | 耐用年数 | 課税標準の特例 | 摘要 |
|------|-------|------|-----------|----|------|-----------|------|---------|----|
| 2    | 0001  | 1    |           |    |      |           |      |         |    |
| 2    |       | 2    | 太陽光発電システム | 1  | R6.4 | 4,000,000 | 17   | 特例      |    |
| 6    | 0003  | 3    | 応接セット一式   |    |      | 1,260,000 |      |         |    |